



ライオンズクラブ様からのプレゼント！

本校では、2つのライオンズクラブ様から長年継続してプレゼントや行事等への参加をいただいています。高知鏡川ライオンズクラブ様には、毎年中学部以上の新入生・転入生に転入学のお祝いとして「時計のプレゼント」をいただいています。今年も12月4日（金）にライオンズの方が、生徒3名がそれぞれリクエストした時計のプレゼントを、手渡しにおいでくださいました。カタログを見てプレゼントをリクエストしていた生徒たちは、実物を手にしてとても嬉しそうでした。

高知黒潮ライオンズクラブ様には、以前はボウリングでの交流と景品のプレゼント、近年は運動会での交流と頑張り賞のプレゼントをいただいていたのですが、運動会が中止になった今年は、クリスマスプレゼントを頂き、本日持ち帰ります。プレゼントは、それぞれの学部や担任が幼児児童生徒の皆さんの喜ぶ顔を思い浮かべながら準備をした物です。2つのライオンズクラブ様には長年継続したご支援をいただいていますことに、感謝申し上げます。

今学期も保護者の皆様には、本校の教育活動に対しまして、ご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。コロナ禍での学校生活、授業は、幼児児童生徒の皆さん、そして指導する教職員にとっても、何かとストレスフルな毎日だったと思います。その様な状況の中でも、幼児児童生徒一人一人の頑張りや成長を、様々な場面で見ることができた2学期でした。

明日から例年より短い冬休みに入ります。大晦日、お正月とご家族で過ごす時間が多い冬休みです。特にコロナ禍の今年は、外にはあまり出ず、家の中で過ごすことが多くなるのではないのでしょうか。是非、大掃除やお正月の準備、その他の家事など家族の中での役割を決め、しっかりと果すことができるよう取り組んでみてください。自立のための一歩として、冬休みを絶好の機会ととらえ、楽しく有意義に過ごすことを願っています。

『新しき年の初めの初春の 今日降る雪のいやしけ吉事』 大伴家持

これは万葉集の最後を締めくくる歌で、「新しい年の初め、初春の今日降る雪のように、良い事もたくさん積もれ」という歌です。この歌のように、一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息し、来る年が皆様にとりまして良い事がたくさん重なる幸多き年になりますようお祈りいたします。どうぞよいお年をお迎えください。



治療室研究発表会

12月18日（金）、高等部本科保健医療科・専攻科医療科の治療室研究発表会が行われました。この発表会は、治療者としてのスキルの向上や将来の目標に向けてテーマを設定し、盲学校の治療室での臨床実習を通して実践研究を行ってきた成果をまとめ発表するものです。

今年新型コロナウイルス感染症の流行で、治療室での外来患者様の治療回数が例年に比べ少ない中、2名の生徒が自分で決めたテーマについて、治療実践をとおした研究発表を行いました。発表後の質問等にも的確に症例や自分の考えについて答えたり、参加していた普通科の生徒さんに分かりやすく説明したりと、座学での知識と、実技練習、そして実際の患者さんへの治療が有機的に結びついていることがよく分かりました。今後も日々研鑽を深め、国家試験の合格と、広い知識と高い技術をもった治療者になるべく努力を続けるとともに、卒業後も学び続ける姿勢を持ち続けてもらいたいです。



G I G Aスクール構想

報道等で「G I G Aスクール構想」や、「児童生徒1人1台パソコン」などのフレーズを聞かれたことがあるのではないかと思います。

これからの超スマート社会（Society5.0）の時代を生きる子供たちにとって、PC端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムとなり、ICTを活用する力の育成は必須です。そのための1人1台端末環境は、令和の時代における「学校のスタンダード」であり、この新たな教育の技術革新は『多様な子供たちを誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びや創造性を育む学びに寄与するものであり、特別な支援が必要な子供たちの可能性も大きく広げるもの』とされています。

高知県の特別支援学校にも3学期には小学部・中学部の児童生徒を対象にタブレット端末が整備されるとともに、校内のWi-Fi環境を整備する工事も1月末に予定されています。

環境整備が進む中、盲学校として視覚に障害のあるお子さんや、他の障害を併せ有するお子さん一人一人に応じたICT活用を推進できるよう取り組んでいくことが求められています。